

防災だより

いますぐ出来るマンション防災

Vol.03

発行 ライフポート西洋

水害(大雨・台風)からの避難行動

「水害リスクを知り、安全に避難する」ために

上の階にいるから安心でしょうか？

近年の大雨は、もう「異常気象」ではありません。線状降水帯・台風・ゲリラ豪雨など、全国各地で毎年のように「これまでに経験のない雨」が降っています。マンションにお住まいの方は「上の階にいるから安心」と思っていますか？今回の防災だよりでは水害(大雨・台風)からの避難行動について記載します。

水害の種類と特徴 水害(大雨・台風)は、主に以下のような災害をもたらします。

種類	特徴	危険性
河川の氾濫	長時間の大雨で川があふれる	広範囲に浸水、逃げ遅れリスク大
内水氾濫	排水が間に合わず街中に水がたまる	都市部で多発、短時間で浸水
高潮	台風・低気圧で海水が押し寄せる	海岸付近で浸水・建物損壊の危険
土砂災害	大雨で斜面が崩れる	崖の近く・裏山に要注意



マンションでの水害時避難の基本 垂直避難が命を守る

垂直避難とは

洪水や津波などで外に逃げるのが危険な場合、高い階へ逃げる避難方法です。

垂直避難の実践ポイント

- ◎外が浸水していたら、1階から外へ出ず上の階へ避難
- ◎上層階にお住まいの方は、一時的に他の住民を受け入れる配慮も
- ◎停電に備えて懐中電灯・モバイルバッテリー・水の備蓄を
- ◎周囲の状況を見て「外に逃げる」のか「上に逃げる」のかを判断しましょう。

必ずチェック! あなたの「浸水リスク」

ハザードマップを確認しましょう

- ◎お住まいの自治体のホームページに掲載(検索例:「〇〇市 ハザードマップ」)
- ◎マンションが浸水想定区域かどうかを必ず確認
- ◎想定水位(例:3m浸水=1階全没)も要チェック!
- ◎国土交通省の「重ねるハザードマップ」も便利です → <https://disaportal.gsi.go.jp/>

※ハザードマップ機能付きの防災アプリ(Yahoo! 防災速報など)なら、現在地周辺の浸水や土砂災害リスクを瞬時に確認できます。

※ハザードマップは安全性を担保するものではないため、想定を上回る災害は十分にあり得ます。

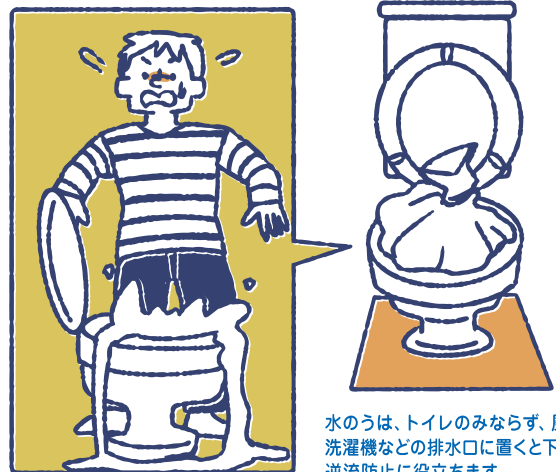


内水氾濫・洪水時の トイレの注意点と対応策

断水していなくても「流さない」が原則

洪水時は、下水道が機能不全になっていることがあり、水を流すと、汚水が便器から逆流するおそれがあります。そのようなリスクがあるときは、ビニール袋に水を入れた『水のう*』を置くと、逆流を抑える効果があります。水が出ても「下水が詰まっていないか」は別問題です。水害時は“トイレが使えない前提”で行動しましょう。

*水のうは、土のうの「土」を「水」に置き換えた手軽な浸水対策アイテムです。



水のうは、トイレのみならず、風呂、洗濯機などの排水口に置くと下水の逆流防止に役立ちます。



外出・旅行中の災害にも備えよう！

災害は「家にいる時だけ」とは限りません。旅行先・出張先で被災する可能性もありますので、旅行先の下調べにハザードマップなどを追加しましょう。

事前にできる対策

出かける前に、訪問先のハザードマップを確認

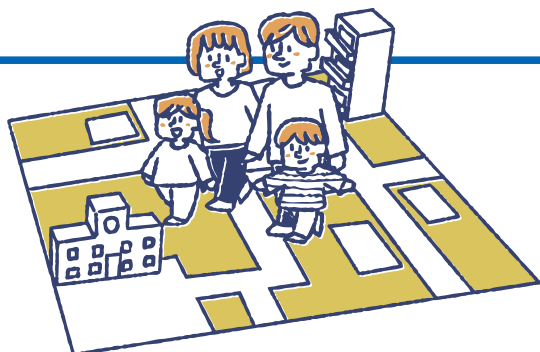
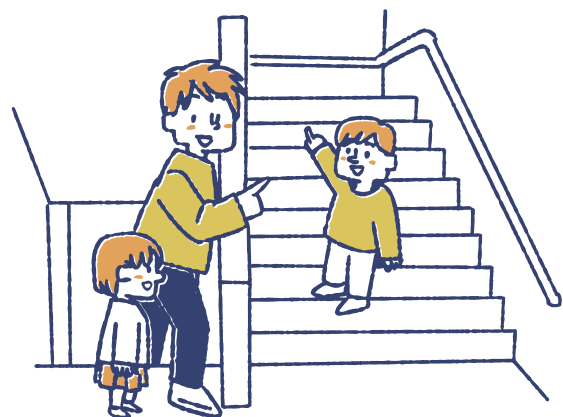
スマホに「緊急速報通知・防災アプリ」（Yahoo 防災速報・NHK ニュース防災など）を入れる

宿泊先の避難経路や非常口をチェック

「知らなかった」「確認していなかった」が、命取りになることもあります。

水害に強くなるためのチェックリスト

- ☑ 自宅の浸水リスクをハザードマップで確認
- ☑ 垂直避難に使えるルートや階を家族と共有
- ☑ 浸水時はエレベーターを使わず階段で避難
- ☑ 停電時の備え（懐中電灯、ラジオ、水など）を確保
- ☑ 外出・旅行先でも災害情報をチェックする習慣づけ



最後に

水害は、地震と違ってある程度「予測できる災害」です。だからこそ、事前の確認と心構えが命を守る最大の武器になります。マンションにお住いの皆様においては「高層階に住んでいるから安心」ではなく、“どのタイミングで、どこに逃げるか”を事前に決めておくことが本当の備えです。